

Omihachiman city

近江八幡市 観光振興計画

令和5(2023)年3月改訂版



近江八幡市



はじめに



近江八幡市には、素晴らしい観光資産が数多くあります。例えば、沖島・西の湖水郷など琵琶湖ゆかりの豊かな自然と人々の暮らしが調和した文化的景観、古くより信仰を集める西国札所や神社仏閣、中世・戦国時代の舞台となった観音寺城跡・安土城跡・八幡山城跡、近江商人を輩出した城下町やヴォーリズ建築などの個性ある町なみ。また、この地で育まれた近江牛、湖魚、米・野菜など食の魅力も数多くあります。

新型コロナウイルス感染症の影響によって観光のあり方が変容し、自然体験、まちの暮らしや歴史文化の体感が注目される中、本市がもつ観光資産は、これまで以上に高い価値が見いだされる可能性があると考えます。

こうした背景のなか、今回、平成25年から約10年ぶりに本市の観光振興計画を改訂し、先人から継承してきた暮らしや伝統文化、自然やまちづくり等生活の全て（＝ライフスタイル）が、訪れる観光客等に癒しや学び、心の豊かさを感じていただけるよう、新たな理念を「近江八幡ライフスタイルツーリズム～近江八幡らしい生活文化の継承と共創～」と決めました。

この理念のもと、市民が、観光により本市を訪れる全ての人々と交流を深め、先人から継承したまちづくりに新たな価値を創造し、次の世代に引き継いでいけるよう、取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の改訂にあたり、ご尽力いただきました近江八幡市観光振興計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、令和3年度からの検討会議及び本計画ワーキンググループに参加いただきました皆様、並びに策定にかかる関係団体や市民の皆様に心からお礼申し上げます。

令和5（2023）年3月

近江八幡市長 小西 理

目次

Contents

<h3>1</h3> <p>計画改訂の趣旨</p> <p>1～5 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none">(1) 計画改訂の目的 1(2) 計画の位置づけ 1(3) 計画改訂の背景、必要性 2(4) 改訂に向けた検討体制及びプロセス 4
<h3>2</h3> <p>本市の基礎情報</p> <p>6～19 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none">(1) 本市の概況 6(2) 本市の成り立ち 7(3) 本市の地域資源と特性 7(4) 本市の基礎データ 16
<h3>3</h3> <p>本市の観光の現状</p> <p>20～31 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none">(1) 本市の観光振興 20(2) 観光を取り巻く環境 27
<h3>4</h3> <p>本市の観光課題</p> <p>32～33 ページ</p>	<ul style="list-style-type: none">課題 1. 市民が地元を学び知る機会の提供 32課題 2. 市内外に点在する資源の連携、滞在できる環境の充実 32課題 3. 事業者間の連携 32課題 4. 観光が市民生活に資するための仕組み、対策 32課題 5. 本市の価値・魅力を伝える場の設置、情報発信の強化 33

5

本市の観光に係る理念、 方向性

34～37 ページ

(1) 理念	34
(2) 計画期間	35
(3) 方向性	36
(4) 目標・指標の考え方	37

6

本市の観光施策

38～47 ページ

(1) 施策の目的、内容	38
施策1. インナーブランディングの推進	40
施策2. テーマ・ストーリー性の高い体験価値の提供	42
施策3. プラットフォームの形成	44
施策4. サステナブルな仕組みの構築	45
施策5. コミュニケーション・デザインの強化	46
(2) プロジェクトの具体イメージ	47

7

計画推進及び進行管理

48～49 ページ

(1) 各主体の役割	48
(2) 計画の推進体制	49
(3) 事業の具体化と実行	49
(4) 計画の見直し	49

参考資料

50～61 ページ

参考1. 検討体制	50
参考2. 各会議の議題	53
参考3. 現行計画の実施状況	56
参考4. 観光客の動態（追加情報）	59

